

三康図書館 企画展示

没後100年

えんりょう

# 井上円了

妖怪! 哲学! 仏教!

2019年も残りわずか...

今年は“妖怪博士”井上円了没後100年にあたる年です。

東洋大学の設立者でもある円了は、哲学や仏教の研究者、不可思議な現象を解明する妖怪博士、教育者と多様な顔ぶれを備える魅力的な人物です。

蔵書資料の中から、円了にまつわる資料だけでなく、当時の迷信や心霊に関する資料もご紹介いたします。



日時：2019年11月1日(金)～12月26日(木)

図書館開館時間内(9:30-17:00)

場所：三康図書館ロビー (港区芝公園4-7-4)

公益財団法人 三康文化研究所 附属

三康図書館

SANKO LIBRARY

お問い合わせ先

TEL: 03-3431-6073

Mail: sanko@f2.dion.ne.jp





# 「没後100年 井上円了」 主な展示資料

## ◆井上円了著『妖怪学講義』（1897年,哲学館）

哲学館（のちの東洋大学）において円了が行った講義を記録した資料。不可思議な現象を様々な学問的知見を用いて説明したものです。

## ◆井上円了著『迷信と宗教』（1916年,至誠堂）

迷信が生まれる原因や、迷信と宗教の違いを世界各地の迷信と呼ばれるものを取り上げつつ解説しています。

小学校卒業程度の人向けに書いたそうですが、けっこう難しい……

## ◆大和田徳義著『心霊写真の研究』（1920年,東京堂書店）

「心霊の実在」を証明することを目的に書かれたもの。

心霊写真とされる5枚の写真が掲載されています。明治時代から心霊写真と呼ばれるものがあり、真偽を巡って議論されていたことがわかります。

## ◆小熊虎之助著『心霊現象の科学』（1924年）

心霊現象と言われるものに対して「偽心霊現象」と「真実なる心霊現象」と区別した。

序文では井上円了について「公平に客観的に観察している、稀な研究家」と言及している。

